



福音讃美歌ジャーナル

福音讃美歌協会

新しい歌を
主に歌え

■巻頭言■『教会福音讃美歌』のCD制作に関わって

ライフ・クリエイション（いのちのことば社）磯川道夫

真夜中ごろ、パウロとシラスが神に祈りつつ賛美の歌を歌っていると、
ほかの囚人たちも聞き入っていた。使徒の働き 16章25節

私が初めて教会に行った頃、礼拝が終わると聖歌隊の練習があり、40名ほどの礼拝出席者のほとんどがピアノの前に集まって賛美の練習をしていました。練習する方が前に向かった時が帰るチャンスで、誰にも話しかけられないうちに、そっと会堂を出ました。外へ出て「今日も伝道されなくて良かった」とホッとしたのを覚えています。そんな私がキリストに捉えられて、賛美のCD制作に関わるようになるとは、本当に不思議な気がします。

『教会福音讃美歌』を手にとった時、どうしても今まで歌ってきた賛美歌に目がいってしまいます。楽譜が読めず、コードでギターを弾く程度の私は、『教会福音讃美歌』の506曲の恵みをどうしたら味わうことが出来るのだろうかと悩んでいました。ですから福音讃美歌協会から『教会福音讃美歌』CD化のお話をいただいた時には、驚きと同時に、私のように困っているクリスチャンの方々が、耳からくるメロディによって、『教会福音讃美歌』を味わうことが出来るようになるなら、なんと素晴らしいことかと思いました。

これまでに発売されている賛美歌集のCDは、合唱が中心のものが多く、ワーシップソングやゴスペルが好きな方々には聴いていただけない可能性があります。またクリスチャンアーティストが出す賛美CDは、アレンジをかなり大胆にしてしまうため、そのメロディが頭に入ってしまうと、教会で会衆賛美するときには困る時があります。『教会福音讃美歌』は伝統的な賛美歌からコンテンポラリーの歌まで幅広く扱っているので、その良さを伝えるCDをと願って制作しました。

1枚に入っている曲も、歌集の曲順ではなくテーマ別です。「礼拝を豊かに」「新しい歌」「降誕」の3巻がすでに発売され、「日本人がつくった神への讃美」「十字架と復活」（仮題）が今後制作されます。合計5枚のCDで約85曲を聴くことが出来るようになるのです。

しかも、それぞれの曲のイメージを壊さないように、合唱、ソロ、ゴスペルやワーシップソングにふさわしい方々が歌いつつ原則楽譜通りに賛美しています。

さて真夜中に賛美したパウロとシラスは、どんな気持ちで歌ったのでしょうか。眠れなくて思わず賛美が口から流れたのかもしれません。

私も賛美をするとホッとするように変えられました。皆様『教会福音讃美歌』CDをぜひお聴きください。

CONTENTS

	頁
・巻頭言	磯川道夫 1
・日本語サイバーヒュムナルプロジェクト	2
・ふくいんさんびかQ&A No.2	3
・『教会福音讃美歌』編集作業の道のり	
第5回	中山信児 5
・INFOMATION	6
・ハレルヤぼうや	Yukiko 8



「日本語サイバーヒムナル・プロジェクト」 「情報ページ」

前号でお知らせした「日本語サイバーヒムナル・プロジェクト」が、βページとして始動しました。解説や作者紹介はまだ一部ですが、全曲の基本データをまとめてご覧いただくことができます。「福音讃美歌協会」ホームページのトップページ (<http://jeacs.org/>) にリンクがあります。

情報ページの特徴

- 集約：「曲の情報」では、歌集の巻末に掲載されている索引の諸情報の他、ネット上で別々に提供されていた試聴用音源、正誤情報など、その曲に関するすべての情報を1ページで見ることができるように集約しました。
- リンク：曲名、作者名、主題、分類、聖句にリンクが張っており、同じ項目の曲目一覧を見ることができます。また、(CH) とあるのは当該項目の "The Cyber Hymnal™" (英語) へのリンクです。
- 検索：歌詞やタイトルの一部から、それを含む曲を検索することができます。また、他の讃美歌集の収録曲が『教会福音讃美歌』では何番にあたるかを検索することができます。
- 更新：アップされている情報はまだ十分ではありません。今後3年かけて全曲の解説と作者紹介をアップする予定です。その後も随時、情報を最新のものに更新する予定です。

■曲の情報

1番「聖なる 聖なる 聖なるかな」

次の番号の曲

「(CH)」は外部リンクです。
『教会福音讃美歌』の情報ページでは「The Cyber Hymnal™」の許諾を得て情報を共有しています。

TUNE = NICAEA

初行 = Holy, holy, holy! Lord God Almighty!

分類 = 三位一体の神

主題 = 神、三位一体の 聖、神の

聖句 = 詩篇72篇19節, イザヤ書6章3節, ヨハネの黙示録4章8節

採用歌集番号 = 『讃美歌』66番 (改訳)

作詞 : Reginald Heber, 1783-1826 (CH)

作曲 : John Bacchus Dykes, 1823-1876 (CH)

著作権情報

訳詞 : © 葛田直毅

音源ファイル

クリックすると音源を聴くことができます。

索引 (インデックス)

『教会福音讃美歌』の索引がまとめて掲載されています。下線の項目をクリックすると、同じ項目の曲目一覧に移動します。

作詞者 作曲者

下線の人名をクリックすると、同じ作者の曲目一覧に移動します。写真データの無いものもあります。

"The Cyber Hymnal™" (<http://www.hymntime.com/tch/>) は1996年に始まった讃美歌のデータサイトです。現在、讃美歌やゴスペルソングのデータを10,500以上提供しています。

Martin Luther, 1483-1546



作詞者 作曲者

名前、生年、没年、写真データ。写真データの無いものもあります。

『教会福音讃美歌』掲載曲

作詞：69番「いま来たりませ」

作詞：88番「高き御空から私は来ました」

作詞：148番「主は死につなわれ」

作詞：200番「深き悩みより」

作詞：344番「神はわが砦」

作詞：372番「天にいます父よ」

作詞：489番「われらの時代に平和をたまえ」

『教会福音讃美歌』収録の作詞作品

下線の項目をクリックすると「曲の解説」に飛ぶことができます。

作曲：69番「いま来たりませ」

作曲：88番「高き御空から私は来ました」

作曲：148番「主は死につなわれ」

作曲：200番「深き悩みより」

作曲：344番「神はわが砦」

作曲：372番「天にいます父よ」

作曲：489番「われらの時代に平和をたまえ」

『教会福音讃美歌』収録の作詞曲作品

下線の項目をクリックすると「曲の解説」に飛ぶことができます。



ふくいさんびか Q&A No.2

『教会福音讃美歌』が出版されてから3年になります。これまで多くの方に用いていただき、たくさんの反響をいただきました。その中に、いくつかの質問がありました。何回かに分けて、寄せられた質問にお答えしたいと思います。新しい質問も受け付けていますので、次のアドレスまでお寄せください。(info@jeacs.org)

Q 1. 『教会福音讃美歌』が作られるようになった切っ掛けは何ですか。

A 1. 福音派の教会の多くは、長い間『讃美歌』と『聖歌』を用いて礼拝を守ってきました。『讃美歌』は1954年、『聖歌』（現在絶版）は1958年の発行ですから、半世紀以上に渡って用いられてきたことになります。

1997年に『讃美歌21』が発行されたとき、日本のキリスト教会は衝撃を受けました。それまでほとんど変わらなかった讃美歌が大きく変わったからです。以後、約10年の間に、主なものだけでも10を越える新しい讃美歌集（改訂版も含む）が国内で発行されました。それは新しい

風とも言える新鮮な現象でしたが、同時に現場の教会に少なからぬ混乱ととまどいを与えました。中でも、福音派の諸教会は、慣れ親しんできた讃美歌集が消えていき、新しい讃美歌集が次々と生まれてくるという現実と直面し、古いものを残そうとしても手立てがなく、新しいものをどう評価したら良いかもわからないことに気づかされました。

福音派諸教会においても、福音主義信仰に立つて讃美歌と讃美歌集について考え、取り組む協力機関の必要が感じられるようになりました。このような状況の中で「日本同盟基督教団」「日本福音キリスト教会連合」「いのちのことば社」の代表者が集まって協議を重ね、2005年に、教会のわざとして福音讃美歌協会が発足しました。以上のような経緯でできた福音讃美歌協会は、設立当初から新しい讃美歌集に取り組むことを目標に掲げていました。そして、諸教会の祈りと協力の中で2012年に発行されたのが『教会福音讃美歌』です。

Q 2. 福音讃美歌協会とはどんな団体ですか。

A 2. 福音讃美歌協会は「キリスト教会における会衆讃美の振興に寄与すること」を目的に発足した、聖書的福音信仰に立つ諸教団・教派・団体の協力機関です。2010年に一般社団法人格を取得しましたので、正式名称は「一般社団法人福音讃美歌協会」となりました。

2015年現在の正会員は「日本同盟基督教団」「日本福音キリスト教会連合」「イムマヌエル綜合伝道団」の三団体、準会員は「いのちのことば社」です。他に一般の教会、個人による賛助会員がこの働きを支えています。

理事会は正会員の各団体から推薦され、総会で選ばれた6名の理事で構成され、2名の監事とともに教会の運営に当たります。讃美歌委員会は福音讃美歌協会の中心的な働きを担っており『教会福音讃美歌』の編集にもあたりました。現在8名の委員がそれぞれの専門知識を用いて讃美歌のさまざまな課題に取り組んでいます。著作権委員会も設けられており、専門家の意見を聞きながら讃美歌の著作権問題に取り組んでいます。神学委員会も設けられましたが『教会福音讃美歌』の編集が終わった段階で活動を休止しています。

また委員や理事は、各地のセミナーで讃美歌についての講演や講習を行っています。教会でセミナーを開きたい場合は、福音讃美歌協会まで問い合わせていただくと、講師を派遣することができます。

Q 3. 『教会福音讃美歌』の特徴は何ですか。

A 3. ひと言で言うと「日本の福音派諸教会の祈りと協力によって作られた、新しくて使いやすい讃美歌集」です。もう少し詳しく説明すると以下ようになります。

第一に福音派の信仰に立っています。収録されている讃美歌のひとつひとつが、讃美歌委員会によって選ばれ、神学委員会によるチェックを経たものです。

第二に、教会の働きとして、多くの牧師、信徒、音楽家の協力によって作られています。

第三に、多くの歌詞が口語になって分かりやすく歌いやすくなっています。また、今までの讃美歌集に載っていない新しい讃美歌も多く収録しています。新しい讃美歌も福音派の信仰にふさわしい作品を厳選しました。

第四に、楽譜の音符や歌詞のフォント、レイアウトにも気を配りましたので、読みやすい讃美歌集となりました。装幀も丈夫で開きやすいものにしましたので、書物としても使いやすいものになりました。

1. 曲の評価

讃美歌の評価を行うためには、まず、何のために評価するのかという目的を明確にすることが不可欠です。例えて言うと、町中を走る車を選ぶ時の評価とサーキットを走る車を選ぶ時の評価が全く違うように、何事も目的を離れては正しく評価することができません。今回の選曲におけるすべての評価、すべての判断は「日本の福音派諸教会の礼拝における会衆讃美のための讃美歌集」という原点に立って行われなければなりません。この点で、個々の委員の判断がぶれるような時には、委員会のテーブルで修正される必要がありました。

讃美歌を評価するためには二つアプローチがあります。実際の作業においては二つは併用されました。

一つは客観的なアプローチで、例えば、一つの讃美歌がどれだけ多くの讃美歌集に採用されているかで、その讃美歌の有用性を判断します。特に20世紀以降に作られた讃美歌の多くは、日本での評価がまだ定まっていなかったもので、欧米の讃美歌集編集者の判断が重要な指針となりました。その際、個々の讃美歌集の教派的背景、神学的また音楽的な傾向も把握し、より正確な判断をする助けとしました。我々と近い神学や礼拝観をもって編集された讃美歌に収録されている讃美歌は、評価のポイントが高くなります。反対に、我々と神学や礼拝観の大きく異なる讃美歌集に多く採用されていたとしても、それは我々にとっての有用性を証明するものとはなりません。

新しい讃美歌の場合は、古いものより讃美歌集に採用される機会が少くなりますので、採用している讃美歌集の多寡だけでは正しい判断を下すことができません。そのような場合には、インターネット、CD、DVDや他のメディアに、どのような映像、音源、コメントがどれだけあるかが有用性を判断する手がかりになります。

欧米のサイトには「The Cyber Hymnal™」(<http://www.hymntime.com/tch/>)、「Oremus Hymnal」(<http://www.oremus.org/hymnal/>)、「Hymnary.org」(<http://www.hymnary.org/>)などの有益なものが多数あり、これらは常に参照しました。

もう一つは、主観的なアプローチで、各人がそれぞれの感性と見識を用いて讃美歌の有用性を評価し推薦します。そのようにして一般の個人から推薦される讃美歌もありましたが、それらはさらに讃美歌委員の判断を経て、委員会のテーブルに載ることになります。

客観的なアプローチだけでは、今の私たちの必要に合わない讃美歌もピックアップされる可能性があります。主観的なアプローチだけでは、選者の感性や見識の不足がそのまま選曲に表れてしまう可能性があります。二つのアプローチを併用することで、互いの欠点を補うことができます。同時に、客観的なアプローチのために資料を収集し分析する作業は、委員の讃美歌についての感性と見識を向上させることにもなりました。

『教会福音讃美歌』に収録する讃美歌を評価する時には、もう一つ大切な視点が必要でした。それは翻訳という視点です。どんなに素晴らしい外国語の讃美歌も、良い翻訳ができなければ採用することができません。客観的にも、主観的にも本当に素晴らしい讃美歌が、翻訳という壁に阻まれて不採用になるということもしばしば起こりました。逆に原詞では凡庸な讃美歌が、翻訳によって輝くということも希ではありますが起こりました。

❖ INFORMATION ❖

♪ CD『教会福音讃美歌 vol.3 ー降誕ー』（9月発売）会員教会特価のご案内

会員教会の皆様には、定価 2700円を特価 2100円（いずれも税込み）での特別注文を受け付けております。特別注文には会員教会に郵送される「特別注文書」をお使いください。特別注文の締切は2015年12月10日です。なお、特別注文は書店では受け付けておりませんので、書店へのお問い合わせはご遠慮ください。

収録曲

- 1 降誕のキャロル (82)
- 2 世の造り主は (71)
- 3 静かに眠れるベツレヘムよ (75)
- 4 主は豊かであったのに (102)
- 5 野に伏す羊を見まもる牧人 (80)
- 6 貧しい馬屋の中 (78)
- 7 幼子が飼い葉桶 (73)
- 8 飼葉おけに眠る (81)
- 9 かいばおけの干し草に (84)
- 10 貧しい馬小屋 母にいだかれ (99)
- 11 喜べ、主をたたえよ (64)
- 12 神のみ子は世に來られた (61)
- 13 主の民久しく (62)
- 14 いかにしてわれ 主を迎える (68)
- 15 ひとり子なる主 とわの父の (72)
- 16 栄光とわに 王なる御子に (89)
- 17 人みな喜び歌い祝え (92)

演奏

立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊
フェリス・フラウエンコーア
西由起子 宇内千晴
フェリス・フラウエンコーア
松本優香
塩谷達也
塩谷達也
田村のぞみ 松本優香
西由起子 宇内千晴
西由起子 宇内千晴
フェリス・フラウエンコーア
フェリス・フラウエンコーア
立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊
立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊
立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊
塩谷達也
塩谷達也

♪ 『教会福音讃美歌伴奏譜 単旋律曲のために』福音讃美歌協会編（12月発行予定）

『教会福音讃美歌』収録の506曲の内、26曲は単旋律の曲です。発売が待たれていた単旋律曲のための伴奏譜の出版によって、会衆讃美のレパートリーがさらに広がることでしょう。

教会福音讃美歌 伴奏譜

単旋律曲のために



福音讃美歌協会 編

収録曲

46) 初めにおられた神のみことば、47) 叫べ全地よ、48) Oh Give Thanks、
57) スピリット・ソング、143) いざ歌え高らかに、165) 慈愛のいぶきよ、
166) 神の愛よ、聖なる霊よ、194) 詩篇73:21-24、195) 詩篇95篇、
201) さあ主をほめたたえよ、206) 主の祝福があるように、213) 神の国と神の義、
215) いと高き所に栄光が、217) ヨハネ3:16、221) 黙示録5:13、
252) ハレルヤと歌え、263) 人の知恵も、267) ローマ12:1、275) 父なる神に、
288) 主よ われらをあわれみたまえ、289) 聖なる主よ あなたを慕い、
294) 感謝ささげよ あわれみの主に、331) 私たちのこの口は、
362) 互いに愛し合い、370) あなたのリズムに合わせ、382) God bless you、
395) たとえばわたしが、469) Send me! (SEND・ミー)、485) あなたの平和の
付録「奏楽奉仕者の皆さんへ ～ より良い奉仕をささげるために」

♪ 讃美歌についての集会を企画してみませんか。

礼拝説教、伝道会、修養会、讃美についての学び、音楽奉仕者の研修や講習などに、福音讃美歌協会の理事、讃美歌委員を派遣いたします。ぜひお招きください。

お問い合わせ：info@jeacs.org tel.03-5341-6920 fax.03-5341-6921（いのちのことば社）

＊ 会 計 報 告 ＊

2015年4月-2015年9月

■収入の部■

科 目	2015年度予算	中間報告
会員負担金	1,210,000	918,000
正会員	750,000	750,000
準会員	60,000	0
賛助会員	400,000	168,000
自由献金	150,000	101,000
その他	0	27
当年度収入合計（A）	1,360,000	1,019,027
前年度繰越金	1,303,409	1,303,409
収入合計（B）	2,663,409	2,322,436

■支出の部■

科 目	2015年度予算	中間報告
理事会費	110,000	61,070
委員会費	235,000	109,112
人件費	360,000	180,000
事務費	305,000	170,183
ジャーナル発行費	500,000	218,948
カンファレンス開催費	100,000	2,520
総会開催費	20,000	11,466
JEA関係費	62,000	62,000
経常支出合計	1,692,000	815,299
特別支出 積立金*	500,000	250,000
予備費	50,000	0
当年度支出合計（C）	2,242,000	1,065,299
当年度収支差額（A） - （C）	-882,000	-46,272
繰越額／残高 （B） - （C）	421,409	1,257,137

【賛助会費納入者】（2015年4月～2015年9月）

世田谷中央教会、菅生キリスト教会、都賀キリスト教会、馬天キリスト教会、大宮キリスト教会、キリスト教朝顔教会（6教会） 齊藤眞木子、刑部照美、稲垣博史・緋紗子、石川岩夫、高橋和江、倉富隆子、大賀勝範（7件）

【献金者】（2015年4月～2015年9月）

武蔵台キリスト福音教会、日本福音キリスト教会連合（2件）

お名前の掲載を希望されない場合は、通信欄に匿名希望とお書きくださるか、メール（info@jeacs.org）で、その旨をお知らせください。

ハレルヤほうや

by_YUKINKO



福音讃美歌協会・会員募集

◇会員の種別は、以下の三種類です。

正会員（教会・教団・教派等）、準会員（超教派団体・グループ等）、賛助会員（趣旨に賛同し支援してくださる教会、個人等）

◇賛助会員のお申し込みは、入会申込書をご請求いただき、必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。承認後、年会費のお振込みにより入会が完了致します。

◇正会員、準会員のお申し込みにつきましては、協会へ直接お問い合わせください。

◆郵便振替口座◆

番号 00220-1-95127

名称 福音讃美歌協会

◆郵便貯金口座（ぱるる）◆

番号 10500-82654721

名称 福音讃美歌協会

◆銀行口座◆

みずほ銀行 ユーカリが丘支店

普通預金 口座番号 1604668

名称 福音讃美歌協会

福音讃美歌協会 JEACS

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1

OCCビル 602号室

tel.03-5341-6920 fax.03-5341-6921

(いのちのことば社出版事業部内)

ホームページ <http://jeacs.org/> メール info@jeacs.org

From Editor

編集後記

ことばの響きが直接イメージに結びつくほどに長く歌われ愛されてきた作品があります。私たちは、そのような讃美歌は、できる限りそのままのかたちで『教会福音讃美歌』に収録するようにしました。けれどもそのような讃美歌であっても、諸般の事情で改訳しなければならなかったものもありました。「牧人ひつじを」も、その一つです。CDの第3巻『降誕』では、松本優香さんがこの讃美歌を新しい翻訳で歌ってくださいました。素晴らしい歌唱によって、新しいことばの魅力が最大限に引き出されました。

(な)

クリスマスは、一年の終わりに巡ってくる4週間ほどの期間です。この季節に御子イエス・キリストのお生まれになつた物語を彩るのは、光と闇のコントラストです。羊を見まもる羊飼いに現れた御使いたち。飼葉おけに眠るみどりご。三人の博士を導いた輝く星。これらの情景の背後には、神の深い愛がもたらす神秘と不思議があります。

クリスマスの讃美歌がクリスマスチャンだけでなく、多くの人々の心に響き、語り続けるのは、その題材の持つ力に拠るところが大きいのでしよう。日本でも「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」「荒野のはてに」「牧人ひつじを」などの名曲が、多くの人々に愛され、歌い継がれてきました。